

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について  
〔2019 年 4-6 月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

景況判断 DI は▲22 となり、2 期連続で悪化した。経営上の問題点を見ると、8 期連続で「従業員の不足」が 1 位となり、深刻な人手不足が続いている。

2019 年 4-6 月期の景況判断を「悪化」とした企業は 26%で前回調査（2019 年 1-3 月期 21%）より 5 ポイント悪化した。「好転」とした企業は 4%で前回調査（6%）より 2 ポイント悪化した。景況判断 DI は▲22 となり、前回調査（▲15）より 7 ポイント悪化した。

以下、その他業況感 DI の内訳

2019 年 4-6 月期に対して、

- ・売上高 DI は▲14 で、7 ポイント悪化
- ・処理量 DI は▲12 で、2 ポイント悪化
- ・営業利益 DI は▲16 で、5 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は▲2、3 ポイント悪化
- ・借入難易度 DI は 7、1 ポイント改善
- ・設備投資 DI は▲3 で、4 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は 1 で、1 ポイント悪化

契約単価 DI は収集運搬で 7、処分で 16 となった。

- 今後の景況感 DI の見通しは、景況判断 DI で▲23 となり、1 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 売上高の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 7.2%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比（3 ヶ月平均）で 8.4%減となった。
- 経常利益率については、平均値が 4.85%で前回調査（5.61%）より悪化した。
- 経営上の問題点としては、「従業員の不足」22.0%（前回 25.5%）が 8 期連続で 1 位となった。

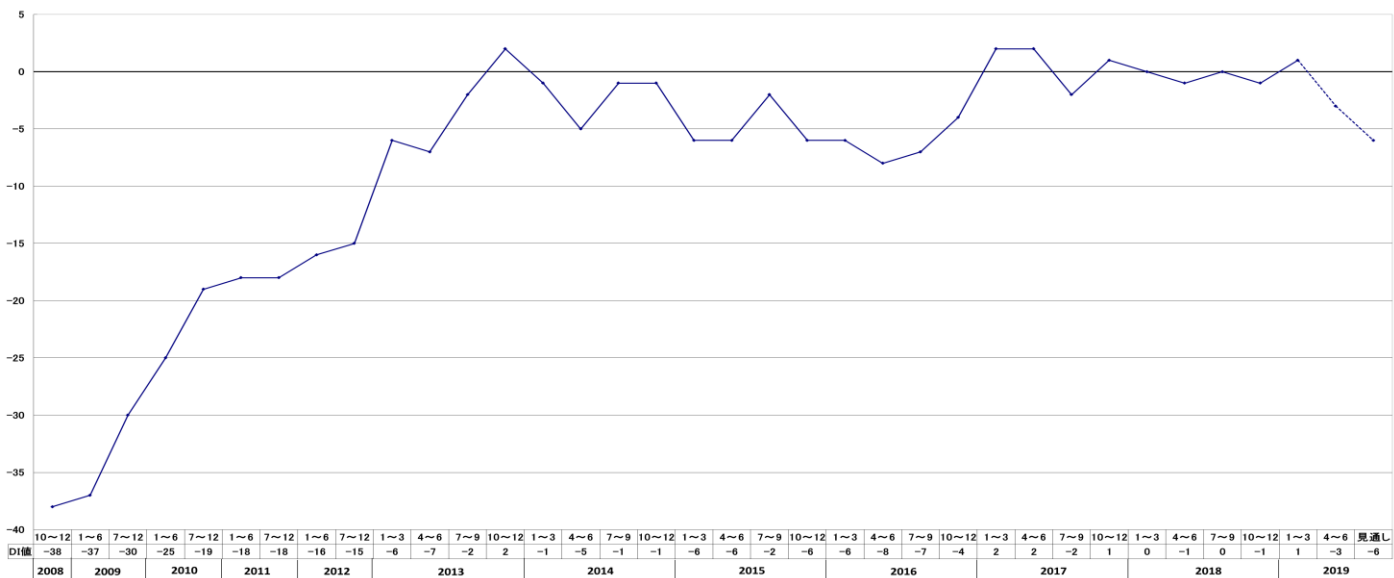
※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

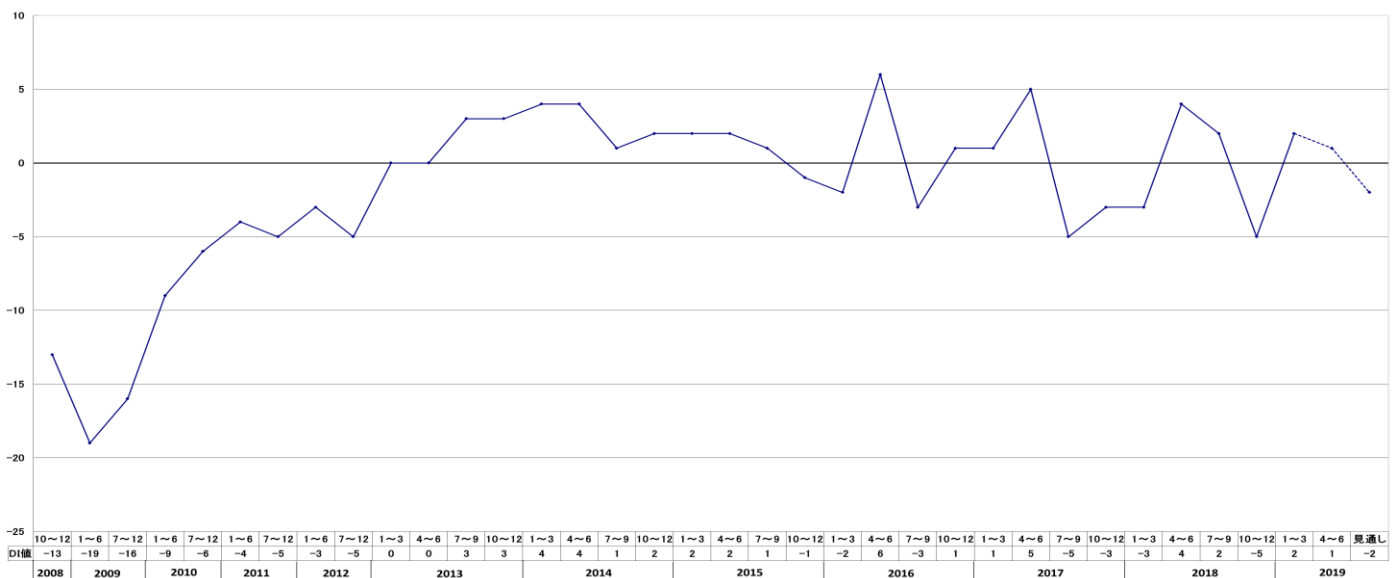




### 設備投資DI

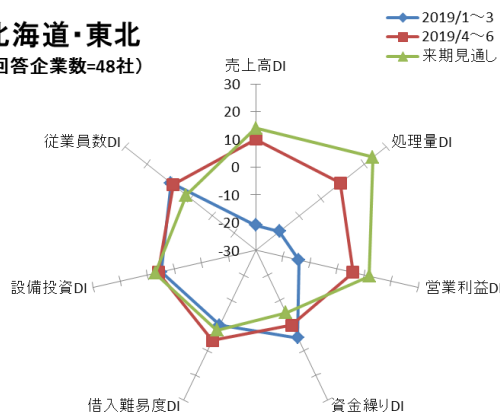


### 従業員数DI

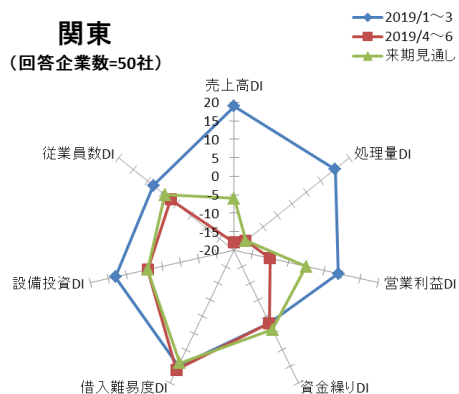


# 【地域別レーダーチャート】

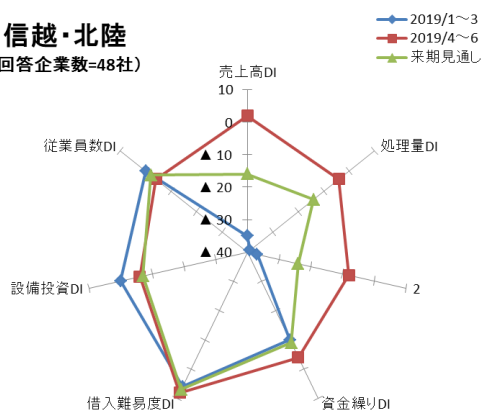
## 北海道・東北 (回答企業数=48社)



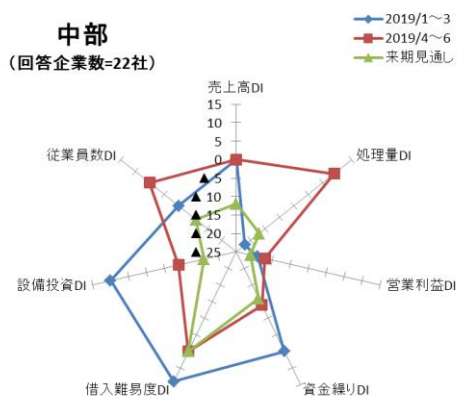
## 関東 (回答企業数=50社)



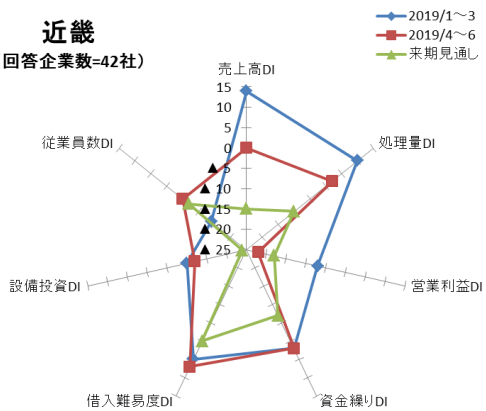
## 信越・北陸 (回答企業数=48社)



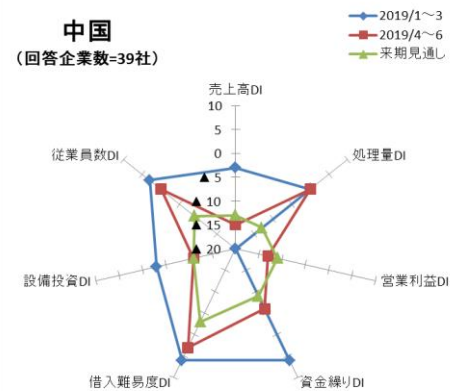
## 中部 (回答企業数=22社)



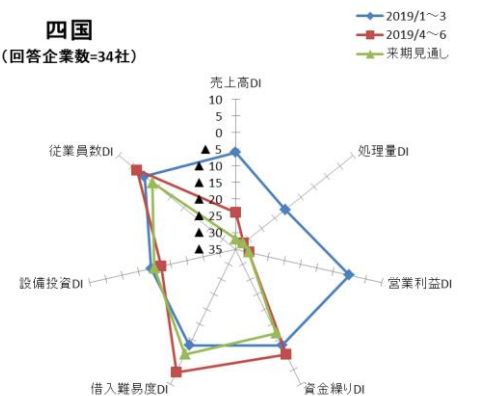
## 近畿 (回答企業数=42社)



## 中国 (回答企業数=39社)



## 四国 (回答企業数=34社)



## 九州・沖縄 (回答企業数=69社)

